

【介護保険の貸与となる手すりは？】

★ 介護保険の福祉用具貸与の対象となる「手すり」は、居宅の床もしくはトイレにおいて使用することにより、身体を支えることにより転倒防止や移動、車いすへの移乗を助けるもので、手すりは取り付けに際し、特別な工事を伴わないものに限り、ネジなどにより固定するものも含まれません。

- ① 歩行訓練用の平行棒方式による廊下などで使用するもの
- ② トイレの便器を囲むもの
- ③ 天井と床の間に突っ張り棒として固定する垂直のバー方式のもの
 - ・材質は金属製、プラスチック製、木製
 - ・設置にあたって、平行棒方式のものは床に設置するスペースが必要
 - ・トイレの便器を挟んで固定する手すりは、便器を固定しているボルトに荷重が掛かるので、便器自体がしっかり固定しているかどうか確認が必要
 - ・トイレ用は洋式トイレ用、洗浄器機能付トイレ用、ポータブルトイレ用など様々なタイプがあるので用途によって選ぶことが必要
 - ・また左右の壁に突っ張り棒を伸ばして固定するものは、壁の強度の確認が必要
 - ・垂直なバーは、天井の構造・材質によって不安定になる場合もあるので注意が必要

参考「家族で作業の一例」

基本的には上下に力が加わる場合には、縦手すり（グラブバー）左右の場合は横手すり（ハンドレール）を用いますが、今回はハンドレールの設置には補強の工夫が必要ですので、縦手すりを取り付ける

- ① ホームセンターに出掛け、材料を選ぶ
- ② 手すり本体の太さですが、縦は直径 28～32 ミリ、横は 32～36 ミリとされていますが、実際に持ってもらい両親に聞くと 35 ミリが一番シックリするとの事で、35 ミリを選ぶ
- ③ 塗装済みのタモ材
- ④ ディンプル加工を選ぶ（若干細い感が有ったのかも知れませんが）
- ⑤ 価格は 2m で 2,000 円ほど、無塗装や 32 ミリの物はもっと安い（自分で塗装やディンプル加工されても良い）
- ⑥ 取付け金具とエンドキャップで約 1,000 円 ゴールドとブロンズの 2 色が有り
- ⑦ 材料費は合計約 3,000 円
- ⑧ 電動ドライバーでチェーンと付ければ OK
- ⑨ 注意ポイントですが、電動ドライバーには長いビットが必要
- ⑩ 電動ドライバーを家庭で購入されるなら、コードレスで無く、安い AC 電源のドライバードリル（1,000 円～2,000 円）で十分

玄関上がり框での取付け位置ですが、縦手すりの一般的な基本は

- ①下端は土間から 750～800 ミリ 対象者の大腿骨大転子の辺りや杖の高さと、言われていますが、履物を揃える時や脱ぎ履きに一旦座る方にも利用出来る様にする為と、後に設置する横手すり（ハンドレール）の取付け支柱とし、力を下に逃がすため床まで着けること
- ②注意する点は、金具の取付け位置は柱などの構造材が基本（木ネジは良い物を使うこと）
- ③取付け金具とセットの物は概ね大丈夫（100 キロくらい耐えられますので安心）
- ④手すりの取付けは簡単ですし、覚えておくと身体状況に合わせて高さを変えたり出来ますので、出来れば家族で設置することも良いと云われています。